

「第20回観て さわって科学、体験2013 フェスティバル」参加報告

フェスティバル参加委員会

委員長	政岡 孝	(実習工場技術班)
副委員長	谷端 良次	(電気電子・情報系技術班)
委員	重松 和恵	(機械・環境建設系技術班)
委員	森 雅美	(科学材料系技術班)
委員	鎌田 浩子	(自然科学系技術班)

1. はじめに

「第20回 観て さわって 科学、体験2013 フェスティバル」が11月9(土)、10日(日)の2日間において開催されました。この催しは、愛媛大学理工学研究科、工学部および理学部が四国電力株式会社と共催し、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会等の後援を得て、多くの子供達に体験を通じた自然科学や「ものづくり」のすばらしさを感じてもらおうとともに、開かれた大学として地域社会に貢献することを目的としています。工学部等技術部は、「ストローロケットを飛ばそう!」のテーマで、反発力と「ものづくり」を体験する内容で参加した。

2. 実施状況について

工学部等技術部の会場は、5号館の3階の教室で行われ、2日間で約400名の子供達とその保護者がものづくりを楽しんだ。子供達は、用意されたペットボトルで作られた発射台のしくみと反発力を理解してから、ストローロケットの工作に取り掛かった。はじめに、ストロー先端に安全カバーを取り付け、反対側にタックシールを貼って羽根を取り付けた。真っ直ぐに飛ぶように羽根の形や大きさを変えながら、壁に設置された的に向かって発射して楽しんだ。スタッフ一同、休憩も取れない忙しさと終日対応に追われた。

3. おわりに

この科学体験フェスティバルの参加にあたり、ご支援をいただきました科学体験フェスティバル実行委員会、工学部総務チーム、工学等技術部技術職員各位に厚くお礼申し上げます。

